

○東日本大震災では、内陸の幹線道路と沿岸部を結ぶ道路は、道路啓開※によって速やかに最低限の機能が確保(「くしの歯作戦」)され、緊急輸送や復旧活動において重要な役割を果たしました。  
 ○山崎断層帯地震により山陽自動車道または中国自動車道の沿線が被災した場合、播磨自動車道(播磨新宮IC~穴粟JCT)の開通により、山陽自動車道と中国自動車道を結ぶ南北軸の道路が増強され緊急輸送・復旧活動への寄与が期待されます。

※ 道路啓開とは、緊急車両等の通行のため、早急に最低限の瓦礫処理を行い、簡易な段差修正により救援ルートを開けることをいう。(出典:国土交通省HP)

## ■ 中国道に被害が出た場合の道路啓開イメージ



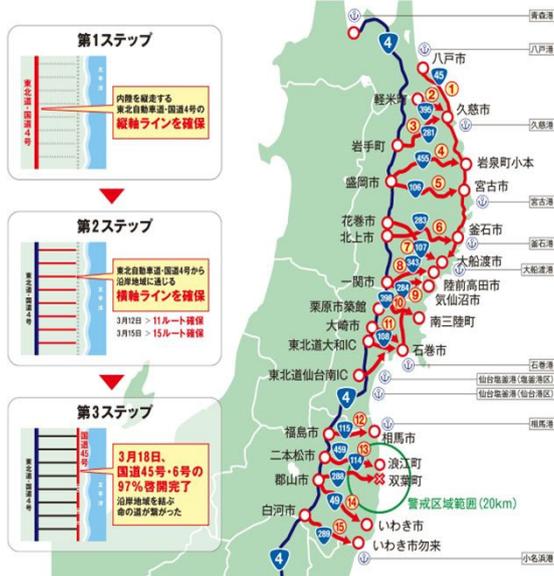
※ 地震による浸水被害は、山陽自動車道まで影響しない

### ○山崎断層諸元

- ・地震の規模 : M7.7程度
- ・地震発生確率: 今後30年以内に、0.09%~1%
- ・最新活動時期: 868年(貞観10年)播磨国地震

出典:文部科学省ホームページより

## ■ 東日本大震災の際の道路啓開



出典:東北地方整備局「震災伝承館」

## ■ H30.7西日本豪雨における被災状況(重篤災害箇所のみ)

(東日本大震災と同様に広域的な災害にも対応が期待される)



出典: NEXCO西日本調べ